

# 介人研レポート【Digest】

## 介人研は、介護業界のオピニオン・リーダーを目指します

介護人材政策研究会の活動は2期4年を終え、3期目を迎えました。スタート時には想像も出来なかったほどにたくさんの方々から力強い応援をいただき、介護人材課題の解消というテーマのもと、介護業界を前進させる一翼を担う事業展開が叶っています。

令和5年度は、活動方針として「『介人研の可能性』の発揮と拡大～“介人研2.0”として、業界のオピニオン・リーダーを目指す」と掲げました。

来春に令和6年度介護報酬改定を控え、介人研のスパイクである「情報と機会」の力をさらに加速させ、介護業界を活性化させてまいります。

代表理事 天野尊明

### ✉ “介護の声”で制度を動かす（要望活動）

昨年来、介護分野にも大きな影響を及ぼしている物価・光熱水費等の高騰への対応や、介護保険制度改正・介護報酬改定に向けて、「介護福祉議員連盟」等との連携のもと、鈴木俊一財務大臣や麻生太郎自民党副総裁、萩生田光一同政調会長など政府・与党の中枢に“介護の声”を届けました。



### ✍ 関係省庁とのダイレクトな協議の場づくり

厚生労働省においては、大西証史老健局長をはじめとする担当局責任者と問題意識を共有し、課題解決の道を探るとともに、財務省に対しては中村英正主計局次長をお招きし、会員とダイレクトに意見交換する場（介護人材政策アクチュアル・ミーティング）を設け、これからの介護制度がどうあるべきかを議論しました。



### 📄 先進的な取組を通じた独自の課題集約

隔月ペースで開催する会員勉強会では「介護×ICT」「生産性向上」「制度改正の動向」など各テーマにおける第一人者を講師に招き、先進的取り組み等を共有することを通じて独自に課題を集約。会員施設・事業所における知見やノウハウ集積の機会とともに、介人研ならではの発信基盤の強化を図りました。



### 📊 介護現場の“いま”を発信する（調査・研究）

介護人材課題にフォーカスして毎年行う調査・研究事業では、「物価・光熱水費等の高騰による介護施設・事業所への影響調査」を実施。明らかとなった厳しい実情を厚生労働記者クラブでの記者会見を通じて発信しました。これらはNHKニュースをはじめとする数々のメディアで取り上げられ、世論への強い問題提起となりました。



## 第3期（令和4年度）KAIGOアンバサダー育成研修会のご報告

リーダー人材の育成を目指して取り組んできた基幹事業「KAIGOアンバサダー育成研修会」は、第3期となった令和4年度を「対話型リーダーシップの創造」と掲げて開催。25名が新たに資格認定されました。KAIGOアンバサダーは延べ90名となり、それぞれの現場で活躍しています。

▶▶▶ 令和5年度は次なるステージへ（令和5年度事業計画より）

「介人研の可能性」の発揮と拡大～“介人研2.0”として、業界のオピニオン・リーダーを目指す

1. 介人研のスパイク（情報と機会）を活かした独自の課題集約
2. メディア戦略の構築による発信力の強化
3. 令和6年度介護報酬改定に向けたさらなる活動の展開

ホームページで発信中

